



四国地方では、将来、南海トラフ大地震とそれに伴う津波の発生が高い確率で予想されています。そのとき、被害を最小限に止めるとともに、被災後の復興をどう進めていくかは大きな課題です。持続可能な都市のビジョンについて、都市研究者や行政実務者の話題をもとに、共に考えましょう。

日時 **8月22日(土)** 14:00～17:00

場所 **徳島大学・総合科学部** (常三島キャンパス) 1号館301講義室

対象 **参加無料** どなたでも聴講いただけます(当日会場へ直接お越し下さい)

■話題提供 14:00～15:40

徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部・教授 山中英生  
「持続可能な津波防災・地域継承のための土地利用モデル策定プロセスの検討」

徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部・准教授 奥島政嗣  
「津波災害リスクを考慮した持続可能な都市構造に関する分析」

徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部・助教 渡辺公次郎  
「徳島都市圏における災害危険性と転居意識に関する分析」

徳島大学大学院ソシオアーツアンドサイエンス研究部・教授 内藤 徹  
「家賃関数から見た南海トラフ地震のリスクに関する経済分析」

高知県土木部都市計画課・課長補佐 小松信彦  
「高知県震災復興都市計画指針の策定について」

徳島県県土整備部都市計画課・まちづくり創生担当室長 椎野洋三  
「大規模災害に対応した徳島県の都市計画について」

■総合討論 15:50～17:00

コーディネーター 徳島大学大学院ソシオアーツアンドサイエンス研究部・教授 豊田哲也  
上記登壇者を中心にフロア参加者を含めた意見交換をおこなう

本シンポジウムは、(独) 科学技術振興機構・社会技術研究開発センター (RISTEX) による研究開発領域「コミュニティがつなぐ安全・安心な都市・地域の創造」における研究開発プロジェクト「持続可能な津波防災・地域継承のための土地利用モデル策定プロセスの検討(代表: 山中英生徳島大学教授)」の取り組みの一環として実施します。

お問い合わせ先

徳島大学地域創生センター (社会貢献係)

電話 088-656-9752

メール: [chkoukenc@tokushima-u.ac.jp](mailto:chkoukenc@tokushima-u.ac.jp)

※上記プログラムは調整中のものを含みます。予告なく内容が変更になる場合があります。